

マンガ 障害って何だろう？

障害って何だろう？

タイトル
『障害って何だろう？』

男子生徒（モノローグ）

今日は、僕の通う中学校に車椅子バスケの選手で、シドニーパラリンピックにキャプテンとして出場した根木慎志さんが来られます。僕たちも実際に車椅子バスケの体験をさせてもらえるというので楽しみです。

根木さん

こんにちは！僕は「出会った人と友達になる」ことをモットーにしています。今日はみんなと友達になりに来ました！

根木さん

僕がやっている車椅子バスケはとても面白いんです。これから皆さんにも体験してもらいますが、最初に難しいスリーポイントシュートを披露しましょう。

根木さん

自分で言うのもなんですが、僕はすごく上手いんです。でも、みんなが応援してくれると、もっと上手くなるんです。よくアスリートの方が、周囲の応援が大きな力になりました、とか言うてるの聞いたことがありますよね？

♪手拍子の音

男子生徒

根木さん頑張れー！

♪歓声と拍手、シュートが決まります。

根木さん

じゃあ今度はみんなで試合をやってみよう。

男子生徒

へえ～、この車椅子は結構軽くて動きやすいんだな。普通の車椅子よりカッコいい！

♪笛の音

根木さん

では、開始！

♪歓声

男子生徒（モノローグ）

車椅子を操作しながらボールを扱うのって難しいな…

男子生徒（モノローグ）

車椅子だと、普段よりリングが遠くなるし、力が入らなくなるんだな…

根木さん

車椅子バスケをやってみて、どうだった？

女子生徒

思ったより難しかったけど、楽しかったです！

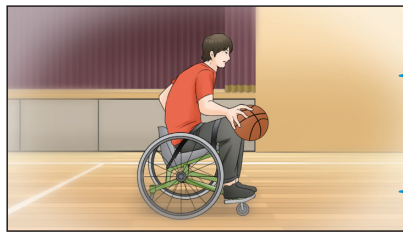
男子生徒

実際に自分でやってみると、さっとシュートを決める根木さんって、すごいんだなって思いました。

根木さん

でしょ！

（一同、笑い声）

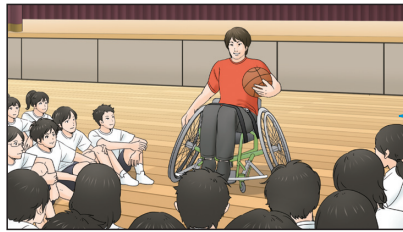


根木さん

では、この中では車椅子バスケが僕が一番上手かったよね。この体育館にいる間はどうか？僕に障害があると思う？

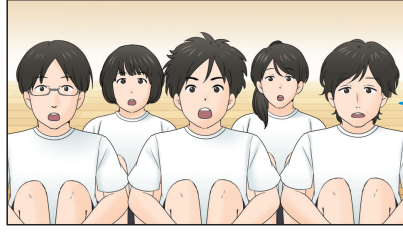
生徒たち

ない！



根木さん

じゃあ、ここを出たら？教室に行くために、みんなは校舎の階段を上り下りしているけど、僕にはできません。では、僕が教室に行くために困ってしまう障害って何かな？



生徒たち

ええと…階段！

根木さん

そうだね、階段が障害です。障害者っていうけど、『障害』って、僕たちにあるわけじゃなくて、実は社会が作り出しているものなんです。だから、社会の努力でなくすこともできるんです。



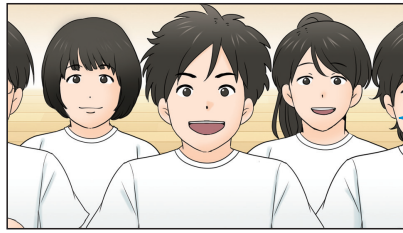
根木さん

僕にとっては階段が障害です。でも、エレベーターがあったり、みんなが助けてくれたら、そんな障害はなくなります。



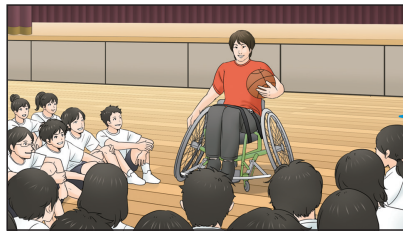
根木さん

例えば、みんなが担いでくれたら、2階にある教室に行って、一緒に給食を食べることもできるんだけどな。僕のこと助けてくれる人？



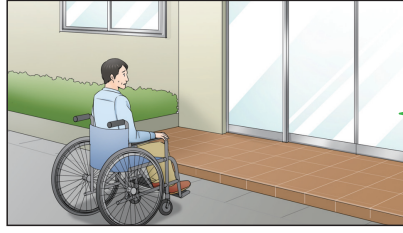
男子生徒

はい！僕たちが手伝いますから、一緒に給食食べてください！



根木さん

ありがとう！ぜひ、一緒に食べましょう。



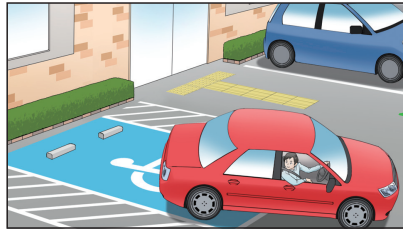
ナレーション

私たちの身の回りには、他にどんな障害があるのでしょうか？例えば、出入口にある段差は車椅子の人の生活にとってはどうでしょうか。



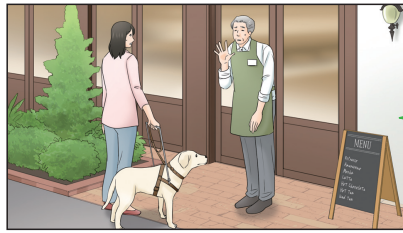
ナレーション

これは視覚障害者を安全に誘導するために地面や床面に設置された点字ブロックですが、自転車が置かれていて、歩行の妨げになっています。この人は、目的地まで行くことができるでしょうか。



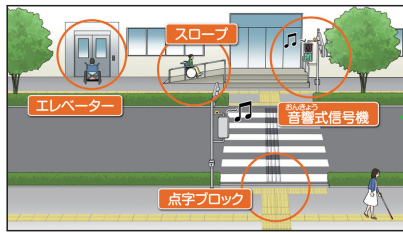
ナレーション

ここは障害者用の駐車場ですが、健常者の方が利用する車が止められています。少しなら大丈夫だろうと、軽い気持ちで止めたのでしょうか。



ナレーション

ここは人気のカフェですが、補助犬同伴の入店を受け入れてくれません。他のお客様の迷惑になってしまうのではと、心配なのではないでしょうか。



ナレーション

皆さんの家や街の中には、他にも同じような障害があり、その一方で障害を取り除く様々なバリアフリー、ユニバーサルデザインがあります。障害とは何か、皆さんも考えてみましょう。